

東京の生協のまちづくり活動トピックス

自治体別まちづくり活動では、生協同士がつながっているからこそできる企画や取り組みをメンバーとともにすすめています。今回は1月・2月に取り組まれた活動を紹介합니다。



杉並区まちづくり

高円寺“ふらっとすぎはち”周辺防災まち歩き ～準備もカンタン！気軽にできる！防災まち歩き体験～

2月27日(金)杉並区まちづくりメンバーで、活動する地域の地形や住宅の建ち方、川の様子、もしも火災が起きたら？という視点で防災まち歩きを行いました。

今回の目的は、運営側が事前のコースづくりや大掛かりな資料の準備を行わなくても、自治体のホームページにアップされているハザードマップや、必要と思われる情報、マップさえあれば、お散歩がてらでも気軽に取り組めること、自生協での企画にしやすいことをメンバーに知ってもらうことでした。

まち歩きは防災だけでなく、歴史、建物・名所巡り、地域のシンボルやアニメ聖地巡礼など多様なテーマでできますが、自治体のホームページでほとんどの情報を得ることができます。特に地域の歴史を盛り込むと満足度が上がるまち歩きになります。

今回は、そんな情報をプラスして「ふらっとすぎはち」をスタートし、地図を見ながら、暗渠の川沿いの道、坂、細い路地を意識して歩きました。まち歩きを終えたあと、活動拠点周辺の住宅密集度合いを知り、緊急車両が入れるのか、避難場所として学校・お寺・保育所に行ってよいのだろうかなどの、疑問や気づきがメンバーから出ました。「このまちで残したいもの」も防災まち歩きで大切にしていることとして出し合い、「高円寺というだけあってお寺がたくさんある。災害時祈る場所があるのは大事だから残しておきたい。」という声もあがりました。

*「ふらっとすぎはち」は、地域の「人」と「人」をつなぐ場所。高円寺駅から南に位置する元・杉並区立第八小学校跡地にある施設。周辺はお寺が多い。

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京西部保健生協



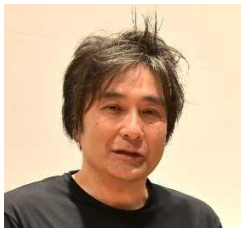
まち歩きのポイントを説明して出発！



やっと見つけた消火栓！

品川区まちづくり

医療福祉生協と地域生協が、いっしょにできること



講師の横山直樹さん

品川区まちづくりでは、生協同士が連携した活動をすすめるために、お互いの取り組みを学び合う機会をつくっています。1月27日(火)の定例会では、城南保健生協健康推進室長の横山直樹さんを講師に、医療生協や保健生協と呼ばれる医療福祉生協について学習会を行いました。

全国96の医療福祉生協が日本医療福祉生協連合会に加盟し、「昨日よりも今日が、さらに明日がより一層意欲的に生きられるために、自分を変え社会に働きかける。みんなが協力しあって楽しく明るく積極的に生きる」という健康観を大切にして、事業と活動をすすめています。

主に健康予防や健康づくり活動に取り組み、入院外来医療・在宅医療・救急医療などを担う城南福祉医療協会、調剤・福祉用具・住宅改修などを担う城南医薬保健協働と、城南保健生協は、大田区と品川区を中心に活動する城南三法人として連携した活動を行っています。

城南保健生協には、地域の組合員が集まる「班」が40班あり、様々な班活動で草の根健康づくりに取り組み、職員が講師となり、医療介護学習・保健教室、うた広場、また、ボランティアの協力のもと3会場で実施している「よろず相談」など、地域に密着した活動をすすめています。

多彩な学習テーマの中から、品川区まちづくりでも学習会を実施してきたところ、コープみらいの「みらいひろば」でのミニ学習会や、パルシステム東京の「センターまつり」での健康チェックなど、連携した活動につながりました。今回改めて城南保健生協の取り組みと学習テーマを学ぶことができ、地域生協の活動や業務でも健康をテーマにした活動が広がりそうです。



コープみらい・パルシステム東京・東都生協・生活クラブ生協・城南保健生協

